

### 流山市

## 「住み続ける価値」を高める市政に全力

流山市は、緑豊かな住環境や快適な都市整備を進めています。それに加え、医療・教育・福祉に力を入れ、障害のある方や生きづらさを抱えている方にも「住み続ける価値の高いまち」を目指し、市政を展開しています。

### 子どもをみんなで育むまち

本市では年間2千人以上の子どもが新たに出生しており、合計特殊出生率も令和3年時点において1.56と県内の市では最も高い状況です。

このような状況下において、本市の小・中学校の整備については、令和6年4月に南流山第二小学校、市野谷小学校の開校と南流山中学校の移転開校を計画通り進めています。



市野谷小学校完成イメージ

### 流山本町地域の活性化



流山本町の町並み

本市のリズムにおける大きな柱のひとつが、流山本町地域です。古民家再生プロジェクトでは、令和4年度に3店舗が新規オープン、1店舗が移転リニューアルしました。今後も新たな店舗の開店など、流山本町のさらなる活性化を進めていきます。

さらに、流山発祥の特産品「白みりん」をテーマにした新しい施設として、令和6年度の開館に向け「白みりんミュージアム」の整備を進めています。



白みりんミュージアム

### 我孫子市

## 人と鳥が共存する魅力ある環境を目指して

かつて水鳥の楽園と謳われ、現在も年間を通して百種類以上の鳥が見られる手賀沼。その湖畔に位置する我孫子市では、毎年11月第1土・日曜日に、国内最大級の鳥の祭典である「ジャパンバードフェスティバル（以下、JBF）」が開催され、今年で23回目を迎えます。

JBFは「人と鳥の共存を目指して」をテーマに、芸術・文化・科学・教育等様々な視点から、楽しみながら鳥や自然環境について触れられるイベントです。

昭和49年度から平成12年度までの27年間、水質汚濁湖沼日本一であった手賀沼ですが、明治初期には、トキやコウノトリをはじめ多くの水鳥が生息していました。我孫子市では、鳥類への関心を通じて環境保全の意識を高めようと、昭和59年に民間で唯一の鳥類研究機関「財団法人山階鳥類研究所」を誘致し、さらに平成2年には、日本で最初の鳥類専門の博物館「我孫子市鳥の博物館」を開館しました。

平成10年、日本バードカービング協会からの申し出により、JBFの礎となる「全日本バードカービングウエスティバル'98」が市内で開催され、我孫子野鳥を守る会をはじめ、地元関係団体もその開催に協力しました。

催に協力しました。

平成13年からは名称をJBFに改め、バードウォッチング、行政・NPOなどによる研究活動の展示、小中高生の研究発表の場である「環境学会」の実施や海外団体との交流等が続いています。平成22年から実施している「全日本鳥フォトコンテスト」にも800点を超す作品が寄せられ、今では、全国からも多くの方々が足を運ぶ、日本最大級の鳥をテーマにしたイベントに発展してまいりました。

都心から電車ですら40分、数多くの文人たちが愛した水辺の風景を、そしてそこに広がる豊かな生態系を身近に見ることのできる我孫子。鳥の住みやすい環境は人間にとっても魅力ある住環境です。今年も多くの方にJBFにご来場いただき、鳥だけでなく手賀沼や我孫子の魅力に触れていただければ幸いです。



### 四街道市

## 暮らしやすく、子育てしやすい魅力あふれる街

四街道市は県都千葉市に隣接し、都心へ40kmの圏内にあり、広域幹線道路の国道51号線、東関東自動車道が縦断する自然と住環境が調和した街です。

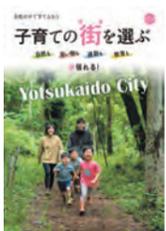
都心からのアクセスは東京駅から電車ですら約50分と良好で、成田空港や東京ディズニーリゾートからも近く、通勤やレジャーに便利です。また、蛸が住む里山など緑豊かな自然があふれ、住み心地の良さも兼ね備えています。



たろやまの郷

子育て支援については、これまで中学生までを対象としていた子ども医療費助成制度を令和5年8月診療分から高校生等まで拡充しました。中学生は無料。高校生等も非課税世帯は無料、課税世帯は300円まで受診することができます。他にも、中学3年生を対象に英検受験料1回無料、小学1年生からの英語の授業実施、小中一貫教育の推進など、子育て家庭を応援しています。

4月から新たに設置した「企業立地 農商工連携推進室」では、企業の立地を促進することにより、市内の産業振興、市民の雇用創出を図るため、立地企業とその協力者に対して資金面での助成制度「四街道市企業立地促進事業補助金」を4月に施行しました。この助成制度を運用しながら地元企業の事業活動の支援、市外からの企業立地の推進をしています。



子育ての街を選ぶ

シティセールスについては、子育て世代を中心とした若い世代の転入促進と定住人口の維持を図るため、本市の多様な魅力を分かりやすく伝えるPRパンフレットを7月に発行。また、今年度も引き続き、東関東自動車道の陸橋を活用したPR横断幕を、キャッチコピーの公募を行い、8月から掲出しています。他にも、四街道市PR大使との連携や、フィルムコミッションの推進など、認知度向上に取り組んでいます。

### 匝瑳市

## 自然と歴史・文化が調和した魅力あるまち

匝瑳市は、みどり豊かな恵まれた自然と歴史のあるまちです。市の北部は、谷津田が入り組んだ複雑な地形の台地で、里山の自然が多く残されています。南部は、平坦地で、市街地を除いてほとんどが田園地帯となっており、白砂青松の続く九十九里浜に面しています。

### 歴史感じる飯高檀林跡

日蓮宗最古・最大・最高の学問所であった飯高檀林跡（飯高寺）。6万7千㎡を超す敷地内にある講堂・総門・鐘楼・鼓楼は、国の重要文化財に指定されています。うっそうとした杉林が訪れた人に重厚な印象を与え、往時の雰囲気を感じ取ることができます。春と秋には講堂を舞台にコンサートが開催され、訪れた人々を魅了。テレビドラマや映画のロケ地としてもたびたび使用されます。



飯高檀林コンサート

令和5年度の飯高檀林コンサート

は千葉県誕生150周年事業として次の通り開催されます。  
日時：10月8日（日）13時～15時30分  
場所：飯高寺（匝瑳市飯高1789）  
出演予定者：ヴェンデ・ヨウコ、越田太郎丸、石川智、楠井五月

### まちが熱気に包まれる祇園祭

毎年8月4日・5日に行われる八重垣神社祇園祭。4日には全国でも珍しい女性だけで担ぐ女神輿渡御が、5日には20基以上の神輿が連なり一日かけて市街を練り歩く神輿連合渡御が行われます。

特に5日の連合渡御では、「あんりやあどした」の掛け声で舞う神輿と担ぎ手に沿道から水を掛けるのが特徴で、水槽にためた水を滝のように浴びせる場面が随所で見られます。この2日間、匝瑳市は層の熱気に包まれます。



八重垣神社祇園祭